『探求 論理国語』［212桐原 論国713］観点別　教科書の特色

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容の特色 |
| (1) 内容の選択・程度  ・学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材の用意 | ①文化論・言語論・社会論等、重要なテーマを考察した、高度な内容の評論教材が多数採録されている  ②実用的な文章教材は、学校生活から日常生活、そして社会全般に関わる題材の中から、バランスよく採録されている。  ③「体験と思索」の単元では、筆者の柔軟な思考法に触れられ、自己のあり方から他者との関係までを問うことのできる、良質な文章が採録されている。  ④「『書く』」単元では、「書く」ことについて述べた文章と、「書く」ことの実践例とが組み合わされ、効果的に言語活動に向かうための工夫がされている。  ⑤各教材には、主体的・対話的で深い学びを実現するための言語活動「活動」が効果的に設定されている。 |
| (2) 構成・分量  ・学習指導を有効に進めるための構成・分量 | ①評論分野は、Ⅰ部11教材・Ⅱ部11教材、評論解析12教材（Ⅰ部8教材・Ⅱ部4教材）の計34教材から構成されており、十分な教材数が確保されている。それらに加えて、「境界をこえて」「論文を読む」「近代を見つめる」の各単元では、既存の評論単元とは異なる角度から評論を集め、収録する工夫がされている。  ②実用文分野はⅠ部実社会・Ⅱ部実社会の2単元（8教材）から構成され、実社会との接点を考えるための教材が、過不足なく確保されている。  ③「体験と思索」単元は、2単元（2教材）から構成されており、適度な分量である。  ④「『書く』」単元は、2単元で構成され、「書く」ことについて述べた文章2教材と、「書く」ことの実践例を手順とともに示した3教材から成り、適度な分量である。 |
| (3) 表記・表現および指導上の工夫  ・学習意欲を高めるための配慮  ・用語・記号の取り上げかたおよび記述のしかた  ・印刷や製本の配慮 | ①本文に付した記号や脚注番号・脚問の印が学習上効果的である。  ②写真が華美に流れず、本文内容と連動して効果的に配置されている。  ③脚注や重要語が適宜挙げられており、学習しやすい。  ④「学習の手引き」や脚問で、本文読解に関わる重要な点が要領よく押さえられる仕様になっている。  ⑤「評論を読み解く解析マスター」「情報の整理」「文献調査の方法」「実用文解析へのステップ」などの付録ページが充実しており、生徒の自学自習や言語活動に役立つ。  ⑥ユニバーサルフォントが用いられ、視認性に優れている。 |
| (4) その他  ・(1)～(3)以外の観点  ・総合的な観点 | ①ジャンル別単元構成となり使いやすい。  ②冒頭の「気持ちよさという罪」は、多様性や他社理解といった重要なテーマについて述べており、高校2年次以降の国語科での学習への導入としてふさわしい内容となっている。  ③評論教材には適宜、評論の主題をより深めるための参考資料「〈知〉の深化」が掲載されている。  ④「ロボットは心を持つか」「身体と出現」、評論解析Ｃ単元、実用的な文章などの、複数テクストを用いた教材が充実している。  ⑤「評論コラム1～5」「実用文コラム」が掲載されており、評論・実用文での学習をもとに、発展学習としての深い学びを可能にしている。  ⑥教科書の内容に関連したＱＲ資料を掲載し、学習の広がりを促す工夫がされている。  ⑦実際の授業を想定した授業展開例や評価基準例などを丁寧に示した指導書、ワークシートや評価問題、デジタルデータなど、指導用資料が充実している。 |